

令和6年度 学校評価「自己評価」（教職員）集約結果

北海道伊達高等養護学校

※評定尺度

4：十分できている（適切である）	3：おおむねできている（おおむね適切である）
2：やや不十分である（やや不適切である）	1：改善を要する（適切ではない）

評価項目	評定平均	評定4	評定3	評定2	評定1	未回答
「学校教育目標」の設定は適切であるか	3.03	14.8%	73.9%	11.4%	0.0%	6.4%
「めざす学校像」の設定は適切であるか	2.94	13.6%	67.0%	19.3%	0.0%	6.4%
「めざす職員像」の設定は適切であるか	2.69	12.5%	48.9%	34.1%	4.5%	6.4%
「めざす生徒像」の設定は適切であるか	2.78	12.5%	54.5%	31.8%	1.1%	6.4%
「経営方針」の設定は適切であるか	2.61	9.1%	50.0%	34.1%	6.8%	6.4%
「重点目標」の設定は適切であるか	2.78	9.2%	62.1%	26.4%	2.3%	7.4%

今年度目標	評価項目	評定平均	評定4	評定3	評定2	評定1	未回答
【教育活動】 「『学習指導』中期目標：分かり高める授業による主体性と協働力の育成」							
・授業改善（互見授業）	3観点評価により、主体的・対話的で深い学びが進んだか	2.75	6.9%	62.1%	29.9%	1.1%	7.4%
・学習者主体の授業	生徒アンケートから、何ができるようになるか明確にできたか	2.75	4.6%	66.7%	27.6%	1.1%	7.4%
・体力づくり及び作業学習・自立活動の充実	新しい教育課程の実施にあたり、指導方法・内容を生徒の実態から見直し改善したか	2.78	4.6%	71.3%	21.8%	2.3%	7.4%
「『生徒指導』中期目標：人間関係や社会規律を理解する力の育成」							
・面談力向上（自己理解）	自己肯定感や規範意識を高める教育相談力向上の実践ができたか	2.75	6.9%	63.2%	27.6%	2.3%	7.4%
・情報の共有	学舎で情報共有し、目標・評価等に活用し効果的な指導ができたか	2.78	6.8%	68.2%	21.6%	3.4%	6.4%
・生徒指導提要への対応と実践	生徒指導提要に基づき、保護者・寄宿舎・関係機関等と連携できたか	2.79	6.9%	70.1%	18.4%	4.6%	7.4%
「『キャリア教育』中期目標：社会に貢献しようとする意欲の育成」							
・キャリア教育の充実	「進路の手引き」を活用しキャリア発達を促すことができたか	2.67	6.9%	55.2%	35.6%	2.3%	7.4%
・ガイダンス機能の充実	生徒向け「進路ノート」を活用し、学年段階ごとの意欲を形成できたか	2.55	6.9%	48.3%	37.9%	6.9%	7.4%
・新職種の職場開拓	生徒が力を発揮し貢献できる新たな職場を開拓できたか	2.85	8.0%	74.7%	11.5%	5.7%	7.4%
【学校経営】 「『信頼される学校づくり』中期目標：学校評価に基づいた教育活動の充実」							
・積極的情報発信	HPや各種通信等による効果的情報発信ができたか	2.83	9.1%	68.2%	19.3%	3.4%	6.4%
・地学協働の推進	藍を活用した活動や自治会、近隣校との協働ができたか	2.94	16.1%	66.7%	12.6%	4.6%	7.4%
・センター機能充実	他校の特別支援Coの育成及び地域の教育力向上に貢献できたか	2.80	9.2%	66.7%	19.5%	4.6%	7.4%
「『組織運営』中期目標：学校課題の共有、協働と経営参画意識の醸成」							
・地域に貢献する本校の価値付け	藍の活用、SDGsの視点を取り入れた全校的な取組ができたか	2.79	8.0%	67.8%	19.5%	4.6%	7.4%
・学校評価に基づく開かれた学校	前年度の学校評価に基づいた学校経営の改善ができたか	2.75	5.7%	67.8%	21.8%	4.6%	7.4%
・めざす職員像の具現	教務と寄宿舎、保護者や地域などお互い多様性を尊重し【和】を重んじて、協働に向け意識して業務に取り組めたか	2.75	9.1%	58.0%	31.8%	1.1%	6.4%
「『教職員の資質向上』中期目標：教育公務員としての自覚と責任の涵養」							
・授業力の向上（互見授業）	特別支援学校高等部としての向上機会の紹介と学び続ける研修ができたか	2.82	10.3%	64.4%	21.8%	3.4%	3.4%
・服務規律の遵守	ハラスメントの根絶、服務規律の徹底、法令順守の取組がなされたか	2.93	17.2%	59.8%	21.8%	1.1%	7.4%
・働き方改革推進	教育課程の検討や働きがいと業務の効率化やスリム化が両立できたか	2.40	2.3%	46.0%	41.4%	10.3%	7.4%